

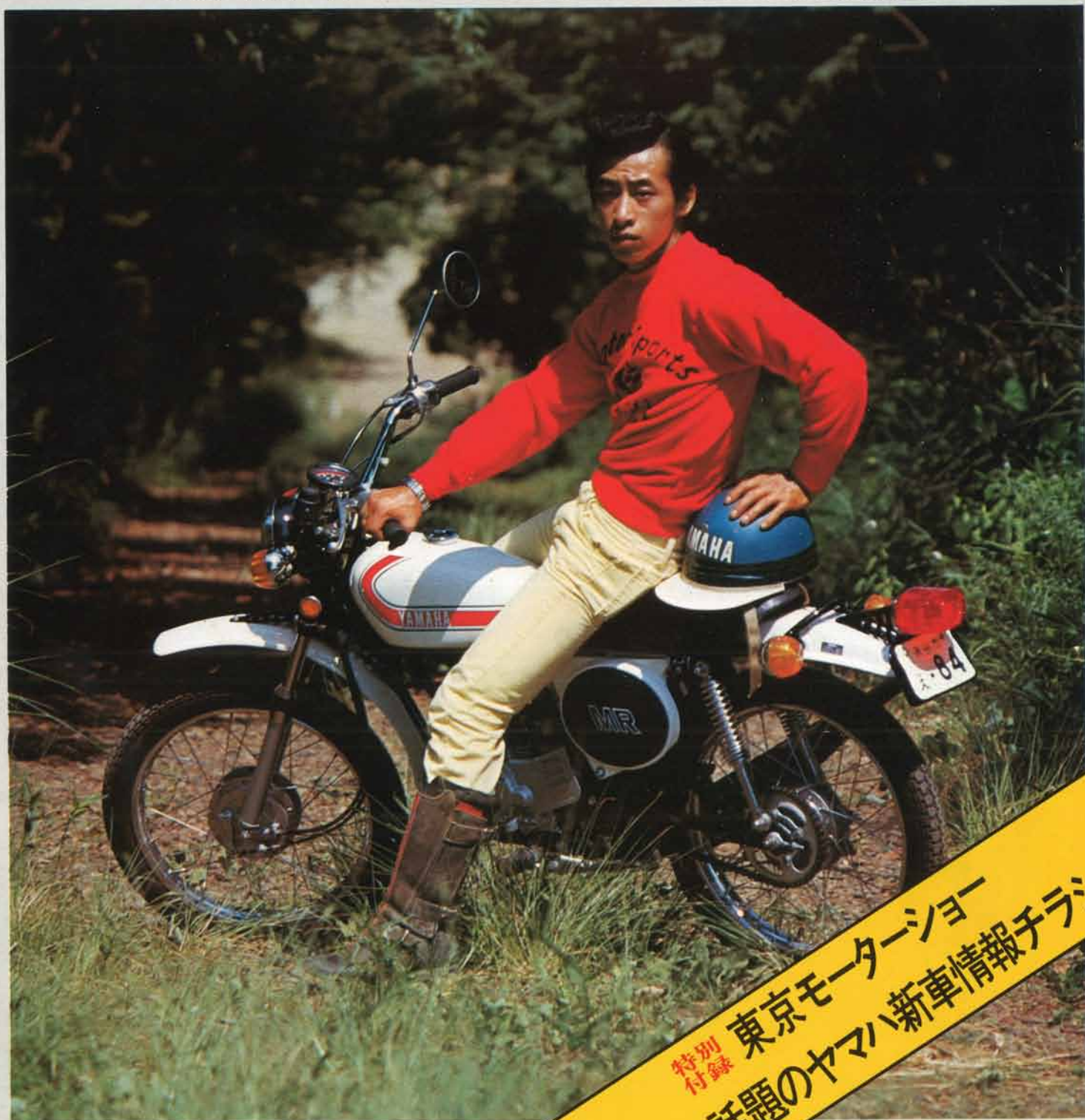
ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

11

1975 NOV. NO.149

雪国の
ご商売 '76ヤマハスノーモビル/小型除雪機 TORO



商品=ヤマハトレールMR50

特別
付録 東京モーターショー
話題のヤマハ新車情報チラシ

乗り物との自然なふれあい。

家族で遊べるスポーツランド菅生



ちょっぴりワイルドな気分、デューンバギーのタフな走り



体重移動で水すまのようにスイスイ走るサーフカート



ゴーカートはカップルでロードコースをぐるり一周

TY50、TY80、チャビィやメイト、RD50、RD90、そしてGT50……もうおなじみのヤマハのバイク。

では、デューンバギー、サーフカート、アメリカンカート、ランドカー、さてどんな乗り物かすぐおわかりになりますか？

どれもスポーツランド菅生の自然の中で、思いっきり楽しんでいただけるめずらしい乗り物です。

モトバイクやおかしなおかしな自転車からヤマハの小排気量バイク、そして三輪、四輪のカートやランドカー。エンジン付、エンジンなし、どなたにもすぐに乗りだせる楽しく安全な乗り物ばかり。

ロードコース、モトクロスコース、カートコース、リレーションゾーン、場所も乗り物も菅生ならではのもの。

こうして、菅生はチビっ子から、若者、お父さん、お母さんまで、あらゆる人の乗り物との自然なふれあいを深めています。

ここ菅生のお客さまは、明日の、お店のお客さまでもあるのです。

●レンタル車コース別表

ロードコース	モトクロスコース	カートコース	リレーション
ゴーカート(2人乗り)	ミニトライアル TY50	サーフカート	ランドカー
ロードスポーツ RD50	ミニトライアル TY80	メイト 50	2人静自転車
ロードスポーツ RD90	ミニモトクロス YZ80	チャビィ 50	モトバイク
おかしなおかしな 自転車	モトバイク	ミニトレール50	乳母車
		デューンバギー	
		レーシングカート	

11月の菅生インフォメーション

- 11月2日～3日 '75オールジャパンSLチャンピオンカートレース
- 11月16日 第2回SCCモトクロス耐久レース
SLトライアル東北大会
- 11月23日 SCCカートレース第8戦
- 11月24日 '75サヨナラミニバイクフェスティバル

★きじ料理、くり料理、野外鍋、野鳥シャブシャブなどのロマンチック料理ご予約受付中。

★オリエンテーリング、サイクリング、ゴーカート、おかしな自転車などと合わせて楽しめる「いも煮会」開催中。

★毎日AM9:30ロマンチックバス運行中(仙台駅ゲームセンター前より宮城交通バス)

大きな自然のびのび菅生 スポーツごころの大きなふれあい

●「菅生」連絡先

宮城県柴田郡村田町大字菅生字路石6-1
〒989-14 ☎022483-3111

●「菅生」仙台営業所

宮城県仙台市日の出町3丁目8番36号
ヤマハ発動機株式会社・仙台支店内
〒983 ☎0222(95)1031・(94)6121

●「菅生」東京営業所

東京都中央区銀座8丁目9-13銀座オリエン
ビル ヤマハ発動機株式会社・東京支店内
〒104 ☎03(572)2021



男、38才。5人家族 妻子ともにトライアルを愛す



山田信さん、三十八才。仙台市郊外の富沢町(西多賀)で十二名の理容・美容師さんが働く「山田理容美容室」の経営者である。

また山田さんは自他ともに許す大のバイクファンである。それもツーリングを中心とした正統派で、仲間の人たちと西多賀ツーリングクラブをもっている。そして、最近この山田さんの心をとらえているものがトライアルである。もともと凝り性といわれる山田さんであるが、「菅生」のオープン後というものは、お店の休日となる月曜日ごとに「菅生」に姿を見せてトライアルを楽しんでいる。

「バイクの楽しさはツーリングに限る」といって、他のスポーツにいつきい目をむけなかつた山田さんを知る人にとって、今の山田さんは別人だ。それも最近はお父さんの道楽」ときめていた奥さままでも、二人の子供さんと共にトライアルに魅せられ、8ミリのまわしてはご主人さまのテクニクの上達に協力して楽しんでいる。

愛車TY125をのせた、ヘルバンに一家をのせてハンドルをにぎる山田さん。男、三十八才、これはトライアルに魅せられたバイクファンのレポートである。



きょう一日は「養生」がベース。パネルバンにはパーベキユーなど食事用具や休けい用具など、いっさいがのせられている。

乗らず嫌いでは バイクの本質は分からない

山田さんの話「トライアルがあることは以前から知っていた。しかし、ライダーはツーリング主体が正統派ということで、クラブの仲間にもトライアルやモトクロスには眼を向けるな、と行ってたんです。心の中ではあんな危なっかしいことをして何が楽しいことがあるものかと思っただけです。」

それがひよんなことからトライアルの写真を撮ることになり、遊びのつもりで友達のトライアル車を借りてセクションに入ってみただけです。こんなところがクリアーできなきゃバイク歴十五年のこけんにかかわる、なんて気負いもありましたが、どっこいうまく出来ない。ショックでしたね、これは。いままでトライアルを軽視していた自分が恥ずかしくなりました。

それからです、トライアルにトライするようになつたのは。やればやるほど面白いということも分かりました。そういう自分に嬉しかったのは、四月一日の誕生日に家族がプレゼントとしてTY125を贈ってくれたこと、それと、初めはしぶしぶ協力していたワイフがいまでは、私のトライぶりを8ミリにおさめて、いろいろとアドバイスしてくれるようになったことです。

やはりバイクは乗るもの。乗らず嫌いであつてはいけません。トライアルを知ってバイクはいよいよ楽しいものとなつた。

今年はまだフレッツシユマンの山田さん。来



販売店のみなさまへ



これからはトライアルのシーズンです。積雪地のみなさまは、スノーモビルや小型除雪機トロのご商売が忙がしくなることでしょうが、積雪のない地区のみなさまはトライアルで冬のバイクの楽しさを普及してください。寒さを忘れて、健康的なスポーツとしてすめられるのがトライアルです。

トライアルは若い人たちだけのスポーツではありません。バイクに乗れる人なら年齢にこだわらなく出来るスポーツです。いまはバイクに目をむけず、四輪乗用車のオーナーとなつていらっしゃる方には、かつてはバイクに乗っていた経験をもつ人が大半以上を占めています。こうした先輩ライダー諸氏を、再びバイクファンに引戻すにはトライアルはまたない競技です。手足を使って、身体で、腰でバランスをとるトライアル、きつとかつて

のバイク時代を思い起します。速く走ることよりも、いかに、確実に走ることが要求されるトライアルには、見た目以上に心をひきつけるテクニクがひそんでいます。そして、体力、技量にマッチして50cc、80cc、125cc(175cc)、250ccのトライアル車シリーズを提供できるのがヤマハです。

ヤマハはこのトライアルをバイクを正しく安全に操縦する基本的な技術を学ぶ点で極めて重要なスポーツと考え、「ヤマハトライアル教室」の開催をはじめ、トライアル教室開催の各種のツールやインストラクターの養成、オブザーバーの研修にいろいろと努力しています。

ぜひ、担当のヤマハマンとご相談のうえお店の冬のスポーツレジャーとしてトライアルの普及におつとめください。

奥さまの世紀子さんの視線を浴びて慎重なライディング。菅生”にくるたびにいつも新しい技術を身につけようと念願している。



楽しい食事。青空のもと、新鮮な空気につつまれて……。長男、長女のお子さんたちは学校で、きょうは5才の良くんがおとも。

年はノービス、ジュニアをめざして頑張りたいと抱負を述べていましたが、この山田さんの熱意に、初めはとまどい気味であったクラブの仲間たちもトライアルの魅力を理解してクラブのミーティングにも楽しい話題の花をさかせている。



新免許制度スタート

三本立てになった二輪免許
大型(401c.c.以上)の試験は750c.c.車で



ご承知のように、この十月一日より二輪免許制度が改正され、従来小型限定と大型の二本立てであったものが、小型限定、中型限定、大型の三本に細分化されています。

これにより特に大型二輪免許は、一段と高度な運転技術にあわせ、それにふさわしい経験も要求されるなど、きわめてシビアなものとなっています。

小型、中型、大型の三本立て

大排気量バイクの未熟運転による事故の防止と暴走行為対策を図って改正された、新しい二輪免許制度を要約すると次のとおりです。

- ▼小型限定——125 cc車 (100 cc ~ 125 cc) で試験
125 ccまで運転可
- ▼中型限定——350 cc車 (300 cc ~ 400 cc) で試験
400 ccまで運転可
- ▼大型——750 cc車 (700 cc以上) で試験——制限なし

そして、この新制度が最も要求していることは、二輪免許はまず小型あるいは中型を取得し、相当の経験を積み、運転技術をマスターしたうえで、大型に移行するというパターンです。

したがって、試験内容も小型が従来どおり中型が技能教習時間の三時限増加（五時限から八時限へ）と大きな変更はないのに対し大型は、きわめてつよい免許試験上の規制がかけられています。

厳しい大型二輪の試験内容

つまり技能試験を750 cc車で行なう、指定自動車教習所での技能検定を行なわない、したがって教習所での技能試験免除はない、といった厳しい条件が大型二輪には付されている

のです。

また試験課題も大幅にレベルアップされ、大型二輪の運転に必要な技量とモラルを要求したものとなっています。

大型二輪の細かい試験課題を見ると、まずバイクに対する経験や体格が大型二輪を運転するにふさわしいものか？ をチェックする事前審査として750 ccの8の字取りまわし、メインスタンド立てなどを行ない、これをパスした人に本試験が行なわれます。

技能試験も小・中型の一・二キロに対し大型は二・〇キロの試験距離、この中には大型だけの試験課題として坂道発進、波状路走行

も含まれています。

店頭指導で確実な大型への道を

以上のように特に大型に関する新しい試験内容をみると、免許のない人が、一足とびに大型二輪免許を受験することはできませんが、常識的に合格は不可能であり、お客さまにとって無駄な努力のくり返しになることは明らかです。

この意味からも、小・中型からの入門、お客さまの体格や経験、運転技術に最も適したバイクを選んでいただく店頭指導が、つよく望まれてくるわけです。

またヤマハ安全運転推進本部も相互協力態勢にある指定自動車教習所との連携のもとに教習所における大型二輪教習の導入を呼びかけるなど、お客さまのスムーズな免許取得への努力を応援しています。



◀大型二輪は、取りまわしなどの事前審査を経て厳しい試験に臨む。

免許改正にもなろう

これからの大型二輪車市場



前ページで紹介しましたように、二輪免許が小型、中型、大型の三本建てとなり、最上級の大型二輪の免許は本誌九月号で既報のとおりのもずかしい内容がもりこまれ、従来のように一発受験での合格は常識では考えられないとまでいわれています。

こうした状況をふまえて、これから二輪車販売はいかにあるべきか、とくにビッグバイクの販売に焦点をあて、左にご紹介の三店の販売店さんにインタビューしました。お店のみなさまはいかがお考えでしょうか。(文責・編集部)

免許改正はとうぜん 堂々と商売する環境をつくらう



東京都江東区 中西モータース
代表 中西 一成氏

結論からいえば、今度の二輪免許三分割制の実施は当然の帰結といえるのではないのでしょうか。言葉を変えていえるものと早くからやるべきことであつたかもしれない。問題が起る前に処置していれば、さらにより市場環境が保てたわけですからね。

商売への影響はないといえればウソで、今回の免許規制は、いつときはまずいことがあるかもしれませんけど、ビッグバイクばかりが商品ではありませんからね。自動二輪免許さえとれば誰れもが大型に乗れたときよりも、安全面で、また社会的にも非常によい結果を生むものと思えます。またそうあらねばなりません。本当は、今回の免許制度よりも、自動二輪の保険金額がアップされたときのほうがダメージとしては大きかったといつてよ

いでしよう。一万五千九百五十円が三万一千四百円になったのですからね。それに車検更新となると、ちょっと大きな費用となる。こうしたことでどうせ乗るなら大きいものをとということで、350ccクラスは不人気だった。しかし、これからは中型限定というライセンスでこうしたクラスの商品が陽の目を見ることになるでしょう。

とにかく、750ccクラスは乗れる人が乗れるようになったことで、昔むかしの青棒ナンバーと同じように威厳がでてきて、今までは迷惑をこうむっていた人が堂々と胸をはれる環境へとすすませたいですね。またそういう商売へと向わねばいけません。このクラスのお客さまは、とかくいろいろと面倒があると外車へと移ってしまうくらいの人ですからね。

やはりお店対お客さま
いつの時代にもバイクはある



神奈川県鎌倉市 山本商会
代表 山本 俊彦氏

このたびの免許システムの改正が、暴走族まがいを追放するだけのものなら、どこの地域の人が被害をこうむったか、それは言えないけれど、こと暴走族問題に関しては鎌倉地区にかぎっていえば迷惑このうえもなかった。たまたま観光地、夏の行楽地ということで、彼等は走っただけのことでしょうけれど、そこに住いを構え、二輪車に乗る人、ましてバイクを販売する側は社会から白い眼で見られている感じで、誠に肩身のせまい思いをしたものです。

しかし、そうした中でも、バイクを心から好いてくれている人はいる。沢山います。この夏の間にも、うちにはいろいろな職業の、いろいろな年配の人がバイクを求めてくれました。ですから、正しく、順序を追って、免許がとれる今回の

決め手は商品の魅力
それも品質の勝負の商売となる



岡山市下中野 宗安モータース
代表 宗安 民雄氏

今度の二輪免許制度の改正で、ビッグバイクはいままでのように、だれもがパツととびつげなくなったことは事実です。それだけにビッグバイク中心に商売をしてきた店にとっては影響ないとはいえません。

先日、警察の免許関係者に会ってきたんですが、高校生はまず合格しないだろう、99・9パーセントは落とすといつてるんですね。現状のライディング技量を見ると、確かに止むを得ない事情がありますが、しかし、逆に考えれば小型、中型、大型と免許が分かれたことで、段階的にそれ相当の経験を積んで免許をとるといふことで、交通のふくそうがはなはだしい現状では、むしろこれで非常にすっきりしたといえますね。

は今まであまりパツとしなかった400ccクラスに人気が出るのではないですか。私はそうみています。750ccクラスは四輪も買って余裕も出たという人、そういう人が商品的に魅力を感じて欲しくなるといふ——、そういったもので市場がつくられることになるでしょう。そうした状況をつくりだすには一二年の期間が必要でしょうが、決して悲観はしていません。

そのためにもこれからのビッグバイクはより洗練されたもの、オーバートレクションで気をひくというものでない、真に品質的にすぐれた商品が市場をリードするということになるでしょう。そういった意味で、ヤマハの飛躍は大いに期待していますし、われわれもそれなりの商売に応じたいと考えます。

やってみよう

いま大流行の ミニバイク運動会を学ぶ 販売店さんの決意

仙台

バイクのスポーツといえば、すぐホットなもの、大がかりなものへと拡大解釈しがちですが、本当はミニバイク、レジャーバイクといわれる小型の、それもスタンダード仕様（というところはナンバー付）のくるまで楽しく遊べるものがあるはずです。いま全国的に盛り上りをみせている「ミニバイク運動会」はまさにそれです。

みちのくは宮城県の販売店のみなさまも十月十二日、七十五名のお客さまと共に楽しい「ミニバイク運動会」をスポーツランド菅生で開き、好評を博しました。

とくに当日は、参加者数といい、競技種目の内容といい、進行のスムーズさといい、すべての面で成功をおさめました。実は、この本番に先がけて販売店関係者のみなさんが「ミニバイク運動会講習会」に自ら率先して参加し、「ミニバイク運動会」のAからZまでを体験していたことが、この日の成果を大きく盛上げる原動力となっていたのです。

自ら試して肌で知る

ミニバイクの楽しい世界

この「ミニバイク運動会講習会」とは、仙台支店普及本部が（株）横山輪業商会、仙台営業所、スポーツランド菅生と組んで、お客さまの間から盛り上げてきた「ミニバイク運動会」を正しく導くために、主催者側として必要な技術を身につけようと販売店さんの立場に立つて企画したものです。内容は場所の選定から開催種目の内容、用具、運営方法など、とかくホットになりがちなレース指向を避けて編みだしたエッセンスです。したがって焦点はナンバー付のミニバイクのお客さまということになり、いかに楽しく遊べるかがポイントとなりました。

会場はスポーツランド菅生のロードレース場パドック。当日ここに集合した販売店さんは四十三店にのびました。店主さん、従業員さん、そして家族のみなさん、きょうはみんなが主催者でありお客さまです。そしてみな実際に競技に参加し、競技のやり方、採点方法から、場所の設定、用具の準備、進行の手順、危険防止などについてその一つひとつを学んだのでした。

レースじゃない

そこが楽しさのポイント

当日、会場に真先に顔をみせ、ゼッケン1番をつけ、終始熱心に受講していた仙台市内のスポーツ店「ヤマハ黒松」の若生正敏社長は、「きょうは講習会と競技会を兼ねて行われましたので、一つひとつの競技に真剣に取り組んでいきました。ネライは、あくまでも今後わたくしたちが主催し、お店のお客さまたちに参加していただくための講習会ですからいかにしたら安全に楽しくお客さまに遊んでいただけるかをしっかり学んだつもりです。ミニバイクの世界はレースじゃない。実際に参加してみてもそれをつよく感じました。

それにしてもスポーツランド菅生は、こうした催しをやるのには絶好です。ここはあらゆるものが用意されていますし、ホテルもありますので、これからは同業者のみなさんと互いに協力しあって、楽しい「ミニバイク運動会」を生みだしたいと思えます」と語っていました。十月十二日の催しは、その第一回目で、参加者のミニトレールは殆んど一〇〇パーセントがナンバー付、新しいスポーツレジャーの芽は着実に育ちつつあるのです。



まず、

▼さあ、やってみよう。ミニバイクのすばらしい世界を味わってみよう。



インストラクターの解説に耳を傾け、実際に乗りだし、仲間の走るのを見、採点し、いろいろ語り合って終えた一日に、正しいスポーツレジャーをリードする販売店としての自覚と責任を感じた。



技術力をもつことは 販売力を増すことでももある



▶50cc車はいろいろな人に使われるクルマ。それだけに使用実態をわきまえた面倒みのよさが肝要だ。
▲夫婦両輪でお店をのばす岩井夫妻



使用実態さまざま トラブルもまたさまざま

岐阜県八幡町 岩井電機モーターズ
代表 岩井 敬一氏

「二級二輪の整備士資格をとったのは十四年前のこと。まあ、たいていのことなら手に負えないことはありませんが、まれには考えもつかないトラブルに出喰わすことがあります。この商売、やはり技術力がものをいいます。トラブルもさまざまであれば、その発生原因もさまざま。それを見極めるには相当な技術力、それも系統だつてものを考えられる知識が必要です。うちのお客さまで、始動困難をよく訴えられる人がいたんですが、その原因はガソリンの劣化なんです。そこは、地理的条件からどうしてもガソリンを買置きしておかなければならない所で、保存がわるく容器に水分の汗が出ているような状態のガスを使っているんです。

これではたまつたものじゃない。それでもお客さまは商品のわるいせいにする。こういうときに役立つのがメカニカルトクで、わたくしもヤマハ技術講習会に参加したひとりですが、基礎技術のおさらいや、エヤツールやテスターなどの新しいツールの知識などを身につけて、日頃の商売に大いに役立たせているんです。とにかく、整備技術能力はお客さまのアフターフォローでも重要項目です」

(岐阜県郡上郡八幡町新栄町)

二輪車販売店にとって、セールスとサービスは表裏一体のもの。客層が若返ってくればくるほど、メカニカルトクもまた重要となります。こうしたことから技術研さんにつとめ、販売面でもめざましい成績をあげている販売店さんを訪ねてみました。



▼ユーザー管理台帳もきちっと行届いている。



▲お客さまの目の届くところでサービス力を売っていききたい——。横山二三夫さん。

◀フロントサービスをつとめる奥さま（中央）。

ネジもゆるむもの 定期点検時の一言サービス

石川県加賀市 横山モーターズ

代表 横山二三夫氏

「売るだけの時代は終わった——、わたくしはこうした考えで毎日を真剣に商売しています。ですから、サービス面でも、出来るかぎりお客さまの目の届くところで作業し、すぐに応じることをモットーにしています。それだけにサービスツールの機械化も図れば、それに応じた技術力の養成につとめ、また部品、用品類の充実にも意を払っています。こうしたことが、お客さまがお客さまを紹介してくれることにつながり、店の信用を大きくしています。

最近では、若い人も大きなお金を用意できるもので、お店にぼっと買いにこられることが珍しくありませんが、わたくしはこうした若いお客さまは親御さんと同伴でなければ商売しないんです。修理についても同様で、大きな事故の修理は必ず父兄に連絡して、その理由を知っているかどうか聞いているんです。こうしたことが、バイクの世界の環境をよくすることに繋がると、金さえとれば知らん顔では、永い商売は出来ません。

うちの地域では十一月頃から翌年三月なかばまでは、商売は殆んど動きませんので、それだけはじめの商売が大切なので、この点でも、扱っている商品を理解し、メーカーの考え方をじかに知るうえで、ヤマハ本社で行われた技術講習会は有益でした。例えばネジもゆるむもの、このような一言がお客さまに定期点検の重要性をさとらせるのと同じで、はじめの講習内容はよかったですね。」

（石川県加賀市山城温泉通り16）

▶サービスは機械カプラス誠意だと教えられている吉田正人さん。



▲「これは技術的な関心の高いお客さん用なんです」と自前のカットエンジンを手にする山崎敏雄さん。

◀クルマをフルに使っていただいているお客さまには代車のサービス。

レーサーがあるだけで お客さんがついてきた

東京都足立区 山崎オート

代表 山崎 敏雄氏

「二輪車販売店にとっては、整備能力、修理技術がお店の看板になることはまぎれもない事実です。うちの店がスタートした当初のことですが、わたくしがモトクロスをやっていた関係で、店の前にモトクロッサーをおいていたところ、こうしたマシンがある店はきつとサービスがよく、迅速であるときめつけられて、次々と新しいお客さまが声をかけてくれたものです。こうしたことが、二輪販売に本腰を入れるきっかけともなっており、やはり二輪販売店では技術につよくなければいけませんね。

ですから、うちでは技術講習会などは積極的に出かけていくようにしており、働いてもらっている吉田正人くんには、営業所に三ヶ月ほど特訓してもらったような次第です。というのも、うちのお客さまはだいたいにおいてフルにクルマを使っている方が多く、故障のたびに営業所にもちこむようでは商売にならないからです。ですから基本的には修理はすべて店でやる方針で、このため整備性改善のために、インパクトレンチも入れればバイクリフトもいち早く使っています。

最近、商品も完成度が高く、簡単な修理でおわっています。反面、学生さんなど若いお客さまは機械知識もおうせいで、サービス力はやはり重要です。まあ、うちの独自のサービスはDM通知の定期点検実施で、これで九〇%ちかくのお客さまのクルマを安全に経済的に使っていただいていることです。

(東京都足立区本木二二八十一)



雪国の期待に応える実績のヤマハ
ヤマハスノーモビル / 小型除雪機 **TORO**
おお、ここにヤマハが！——の実績で選ばれる雪国の必需品。それがお馴染み高性能ヤマハスノーモビルと小型除雪機ナンバーワンのTORO。雪国では評判のヤマハの商品です。



スノーモバイル

迎えて8度目の雪のシーズン。いよいよ評価の高い業務用認定車に加え、白銀の世界に軽快なシュプールを描いて人気上昇のスポーツタイプは安全性、スポーツ性をさらに高めて新登場。'76ヤマハスノーモバイルはS-300Rを含み都合7機種が用意されています。

S-350DX (認定車)

ゆとりある使いやすさと実力が高くかわれて人気の商品。マルチユースの巾広い性能はあらゆる用途ですぐれた適応性を発揮し、5 km/ℓの燃料経済性も備えている。

エンジン 2 st.単気筒338cc 最高出力25PS/5500rpm 手動式始動 (セル装着も可能)



S-300M (認定車)

スノーモバイル本来のスピーディな走りっぷりを生かしたユニークな業務兼用型。ショートフレームを採用しており、1500cc級のライトバンなら積載可能で運搬は容易。

エンジン 2 st.単気筒292cc 最高出力18PS/5500rpm 手動式始動 (セル装着も可能)



GP-300

平坦地につよいスライドサスペンションを採用した足の速いスポーツ型。燃料タンク容量は18ℓと大きく、ハンティングやスポーツレジャーの行動半径を広げている。

エンジン 2 st.単気筒292cc 最高出力27PS/6000rpm 手動始動 燃料タンク容量18ℓ



GS-250

凹凸の激しい場所でもすぐれた雪接圧を保つボギー式サスペンションを採用、巾広い使いやすさを決め手とした軽快なスポーツ型。小型で軽く、経済性もまた優秀だ。

エンジン 2 st.単気筒246cc 最高出力22PS/6500rpm 手動始動 燃料タンク容量15ℓ



小型除雪機 TORO

アメリカのすぐれた小型除雪機を日本の雪国に紹介して2年目。今冬のトロは現行の832、542に加えて1032、832デラックス、スノーマスターと業務用の本格的な除雪作業をこなすタイプのものから一家に一台ハンデタイプまで5機種がそろって雪国の生活に奉仕します。どうぞ広くご拡売ください。

TORO 1032

深さ40cmの雪を1時間に500㎡(150坪)も処理する本格的な除雪作業型。エンジンは寒冷地仕様の4サイクルで、始動は簡便なセルスターター方式。ホテル、旅館、ドライブインなど広いスペースの除雪に高能率を発揮する。



TORO 832 デラックス

深さ40cmの雪を巾80cmにわたって1時間当たり400㎡の能力で除雪する従来の「トロ832」をベースにキャタピラーを装着したのがこのデラックス型。舗装路面はもとよりアイスバーン、不整地においてすぐれた働きを示す。



《仕様諸元》

	1032型	832デラックス型	スノーマスター	
除雪能力	除雪幅	80cm	80cm	50cm
	除雪深	40cm	40cm	15cm
	除雪能力	500㎡/h(150坪)	400㎡/h(120坪)	180㎡/h(55坪)
	投雪距離	7~9m	7~9m	3~5m
	投雪範囲	200°	200°	30°
本機	全長	1,600mm	1,600mm	990mm
	全幅	900mm	900mm	520mm
	全高	1,040mm	950mm	840mm
	重量	163kg	126kg	12.5kg
仕様	投雪機構	2オーガー 1インベラ方式	2オーガー 1インベラ方式	ステージブレード ローター方式
	ノズル直径	400mm	400mm	200mm
	インベラ直径	350mm	350mm	
	変速機	前進3段 後進1段	前進3段 後進1段	
エンジン仕様	エンジン名称	B & S	B & S	テカムシ
	エンジン型式	4サイクル 寒冷地仕様	4サイクル 寒冷地仕様	2サイクル 空冷装置
	最高出力	10PS	8PS	2.25PS
	排気量	400cc	320cc	
	燃料タンク容量	3.8ℓ	3.8ℓ	(1.1ℓ 混合油使用 混合比30:1)
	オイルタンク容量	1.7ℓ	1.3ℓ	
始動方式	セルスターター	リコイル スターター	リコイル スターター	

TORO スノーマスター

分解、組立てが簡単で、手軽に持運べるポータブル除雪機。重量は12.5kgと軽量で、手押し除雪のほか手持ち除雪もでき、屋根などの雪おろしには最適。深さ15cmの雪を巾50cmで3~5mとばし、180㎡/hの能力をもつ。



'76ヤマハ

S-440 (セル付) (認定車)

もっともデラックスな装備を施した業務用モデル。始動の手軽さとパワフルなけん引力はあらゆる雪業に使われて好評。冬一番の働き者といわれる。

エンジン 2 st. 2 気筒 433cc 最大出力
5500rpm 最大トルク 3.8kg-m / 5000rpm



GP-440

強大なパワーと抜群のスピード性能を誇るもっともトナスポーツモデル。接雪圧を高めたスライドサクションの威力は各地のスクランブルレースで実証。

エンジン 2 st. 2 気筒 433cc 最高出力
7000rpm 手動始動 燃料タンク容量



YZR500、日本GP2連勝!!

スズカに沸きあがる歓声

金谷、驚異の **ラップ新記録** で優勝

10月11日午後2時、セニアの公式予選終了後のアナウンスが「金谷、2分16秒2」を告げた時、一瞬静まりかえった鈴鹿サーキットはたちまちどよめきの声に沸いた。それは「スズカの20秒の壁」を、ヤマハの技術力と金谷秀夫の精神力が大きく打ち破った歴史的な瞬間であった。今年の世界GPで、帰国の時まで500cc級ランキングのトップにいた「世界の金谷」は乗り慣れたYZR500で出場、他の7台の750ccマシンに圧倒的な差をつけたのである。12日の決勝は雨にたたられ、750ccマシンは不出場で金谷の独走となったが、スズカのグランドスタンドは金谷とYZR500のとてつもない速さに惜しみない賞讃の拍手を送った。YZR500はこれで昨年の本橋明泰に続き2連勝を飾った。(詳細は次ページ)

▶スタンドの歓呼に応える金谷秀夫。右@はEJのダブルウィナー石井康男



2分16秒2

これが「世界の金谷」の走りだ

タイトルを賭けた好レースに沸く!!

●全日本ロードレース選手権第9戦 75日本グランプリロードレース大会

全日本ロードレース最終戦、日本GPは今年も鈴鹿サーキットを舞台に、10月11、12日に約200台の精鋭が集まって行われた。この国内最大のイベントでヤマハ車勢は、11クラス中9クラスに優勝、その強さをいかなく発揮した。記録的に見ても、11日に行われた公式予選では、金谷の快記録を筆頭に9つのニューラップレコードが生まれたが、そのうち8つまでがヤマハ車によるものであった。ここで金谷の記録について賞讃に値するのは同じく20秒の壁を破った片山敬済のYZR750による2分18秒というスピードである。片山はこのFL750部門出場のため、セニア750cc級のチャンピオン獲得のチャンスはのがしたものの、この速さは来年度の片山の一層の飛躍が期待される所である。決勝の行われた12日は、相にく朝からかなりの雨に見舞われ、記録的には期待出来なかつたものの、この最終戦でチャンピオンと最優秀選手賞が決定するレースがたくさんあり、日本GPにふさわしいシ烈なレース展開が随所に見られた。スズカのグラランドスタンドは前日の記録ラッシュの時とは異ったロードレースの醍醐味に酔いしれていたのである。

注目のEJ、セニア、FL750cc級のレースは、前述の通り750ccマシンの不出場で出走台数こそさびしいものとなったが、金谷とYZR500の速さ、石井康男(EJ)の健闘ぶり、それにセニア750ccのチャンピオンを賭けた浅見貞男の走りはそんなもの足りなさを打ち消すに余りあるものであった。レース内容としては金谷がブツギリで楽勝。石井は、YZR500の本橋明泰のリタイアにより、スズキの莊利光(FL)を押えて総合2位。浅見が糟野雅治とのデッドヒートに勝って4位となった。この結果浅見は第8戦までランキングのトップにいた毛利良一(決勝はケガで不出場)に逆転勝ちし、セニア750cc級のチャンピオンになった。石井はEJ125cc級でも1位になっており、ダブルウィナーになるとともに、EJの最優秀選手賞も決定的なものとした。

EJ、セニア125ccでもまたタイトルを賭けた好レースが見られた。結果的には上田公次(ホンダ)、石井、江崎正(TAI25)の順にチェッカーを受けた。このためセニア部門では、江崎と上田が同ポイントに並んだが3位になった数(1位と2位は両者同数)の多い江崎がタイトルを確定した。

この他、好レースが展開されたのは、ジュニア250、350ccだ。前日にラップ新記録を出したTZ250の酒井克と、350ccのタイトルをすでに決めていた大島孝治とのTZ同志のトップ争いは素晴らしいものであった。シーズンゲームに終了した両者のゴールインは記録的には同タイム、わずかに大島の前輪が先んじていた。しかし酒井は250cc級で1位となり、ポイント争いでも、2周目でリタイアした加藤剛に逆転勝ちでチャンピオンになった。

浅見貞男、タイトルへの貴重な一勝あげる

●全日本ロードレース選手権第8戦筑波大会

秋のメインイベント「日本グランプリロードレース」の前哨戦となるシリーズ第8戦は

9月14日、茨城県筑波サーキットにランキング・ポイントを追うライダーが一月ぶりに



最終戦でみごとS750ccのチャンピオンとなった浅見

顔をそろえて終盤戦の熱のこもったレースを展開した。タイトルの方がまったく余断を許さないメインレースEJ、S、FL750ccは、一周目

東福寺、ダブルタイトル獲得(EJ)

●全日本モトクロス選手権第11戦青森大会

九州からいきなり青森へ飛んでの全日本モトクロス選手権シリーズ第11戦は、十和田湖にほど近い田子町小国牧場で行われた。小高い山の中腹に設けられた会場は広々とした比較的平坦な所で、全長約2.4kmのロングコース。レース当日の9月21日は、午前中は相にく風雨が強く参加各選手とも苦戦をしいられたが、午後からは天気も回復したこともあり、交通不便な場所にもかかわらず多くのファンが集まり、会場は盛り上がった雰囲気包まれた。こうした中で東福寺保雄はエキスパートジュニアのダブルタイトルを決定した。EJの

250cc級は雨が上がってからのスタート。序盤戦は烈しい先陣争いが見られたが、東福寺の速さはやはり群を抜いたものであり、中盤からは全くのブツギリの独走で楽勝、このクラスで実に6勝目をマークしたのである。これで東福寺はすでに決めていた125ccのチャンピオンを合わせてダブルタイトルをものにし、最優秀選手賞も確実なものにした。セニアではヨーロッパ遠征で腕をみがいた渡辺明(スズキ)に両クラスとも制せられたが、125cc級で鈴木都良夫は終始渡辺と好レースを展開しファンの期待に応えた。



すでにセニア並みの走りでEJ 250ccを制した東福寺

から先行するカワサキKR750の清原明彦(FL)を追ってヤマハTZ350の浅見貞男とスズキTR500のベテラン安良岡健が息づまる二位争いを展開する。ポイント争いでもトップの毛利良一を必死に追う浅見は、この激烈な二位争いに気迫のこもった走りであち勝ち、みごとセニア750ccに二勝目をマーク、毛利とのポイント差を9ポイント差にちぢめ、念願の初タイトルを最後のGPに持ち込むこととなった。また、総合四位にはEJ石井康男がTZ350でくい込み、このクラス三勝目をマーク。一分五秒三六という、このコースのEJクラスレコードも合わせて樹立。唯一人の125ccのダブルエントリーの努力が実のつてEJ最優秀選手への大きな希望を持たせた。

トラオ、ドロまみれの二重勝で最終戦を飾る

●全日本モトクロス選手権第12戦新潟大会



ドロまみれになって奮戦するトラオとYZ-M250

今年度の全日本モトクロス選手権シリーズは比較的好天に恵まれて来たが、最終戦となった第12戦は終始間断ない雨にたたられた。しかしながら10月5日、新潟県湯沢町の岩原スキー場の特設コースには、総数約400台が参加し、お互いがドロと雨の中で最終戦にふさわしいモトクロスを展開した。中でも鈴木木都良夫は持ち前のガッツを発揮して、悪コンディションをもとせずダブルウィナーとなったのはさすがであった。

セニア125cc級は杉尾良文と渡辺明（ズキ）が好スタートを切り、トラオは大きくおくれで10番手位で一周を回る。しかしトラオは杉尾と渡辺のトップ争いが続く間にぐんぐんと追いあげ、5周目で3位に上昇、9周目にはトップに立ちそのままゴールまで首位を保った。2位は渡辺、杉尾は3位に終わった。小止みなく降りしきる雨のため、セニア250ccのレースの頃はコースはまるでドロ沼と化し、各マシンは車輪をドロにさらわれ転倒者が続出した。しかしこの最悪のコンディションの中でもトラオの走りは安定していた。各ライダーが何度も転倒して目まぐるしく順位が変わる中であってトラオは前半に一回転んだだけという安定ぶり、後半は2位以下を全く寄せつけず、最終的には2位の増田に2分以上の差をつけていた。このレース、増田が5位以下になればトラオはポイント争いで逆転勝ちを収めることが出来たが、さすがに増田もよくがんばり、トラオはこのクラスのランキング2位に甘んじた。

EJでは東福寺も健闘し、250cc級ではリタイアしたものの125cc級では、同じくYZで出場の吉原朋正に苦戦しながらも打ち勝った。なお吉原はこの悪条件のもとで250cc級でも2位になったのは立派であった。その他、ジュニア250cc級で福田敬治が4勝目をマークするなど、YZ、MXのヤマハ車勢は最終戦にふさわしい健闘ぶりを見せてくれた。

世界選手権スポーツ

世界選手権最終戦ユーゴGPP

75ロードレース世界選手権シリーズは、9月19、21日のユーゴGPPですべてのスケジュールを消化しました。全クラスの選手権がすでに決定していたの

シリーズランキング

ントでもやはりヤマハの強さは群を抜いています。来年のモータースポーツの一層の興隆と、ヤマハに乘るライダー達の活躍に期待したいものです。

(表の中で○印の数字は有効得点から除いたもの。計は有効得点の合計)

セニア125cc											1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	江崎	正	ヤマ	ハ		15	12		12	15	⑧	15	15	72						
2	上田	公次	ヤマ	ハ		12	10		15				18	72						
3	新田	茂	ヤマ	ハ	15								13	38						
4	大脇	敬	ヤマ	ハ						10	12		11	33						
5	岩道	俊夫	ヤマ	ハ									9	29						

セニア750cc											1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	浅見	真一	ヤマ	ハ	12	10		⑤	15	15	18			70						
2	毛利	良一	ヤマ	ハ	⑩	15		⑫	15	12	15	12		69						
3	片山	敬	ヤマ	ハ	⑮	12	15	15						57						
4	佐藤	敬	ヤマ	ハ					10	8	10	8	13	49						
5	大脇	俊夫	ヤマ	ハ		8	12		5	10				35						

モトクロス

ジュニア90cc													
1	北村	隆	ヤマ	ハ	15	15	15	18					78
2	斎藤	清一	ヤマ	ハ	5	10	15			15	10	12	67
3	大友	澄男	ヤマ	ハ	12			11	15				38
4	夏目	功	ヤマ	ハ	8	12							35
5	我満	昭	ヤマ	ハ	10		12					12	34

ジュニア125cc													
1	青山	金助	スズ	キ									95
2	立脇	三樹夫	ス	キ		15							76
3	鈴木	敏彦	カ	キ	③		12	13	12	10			78
4	大泉	浩一	カ	キ			10	10	12				59
5	福田	敬治	ヤマ	ハ	5	4	6		18	5			56

ジュニア250cc													
1	青山	金助	スズ	キ		15	8	15			15	15	95
2	福田	敬治	ヤマ	ハ		10	15	18			12	15	84
3	鈴木	敏彦	カ	キ		8	10	8	⑤	15	8	10	65
4	大泉	浩一	カ	キ		12	9	10	12		8	6	62
5	佐藤	敏和	ヤマ	ハ	8	3		8	15	12			46

E. J 125cc													
1	東福寺	保雄	ヤマ	ハ	15	15	15	15	④	15		15	105
2	福本	敏夫	カ	キ		12			④	12	8	10	66
3	吉原	朋正	ヤマ	ハ	⑥	6	6	8		11	8	10	62
4	佐藤	和夫	ヤマ	ハ		10	10	11	12	2		5	51
5	星野	正博	ヤマ	ハ	1	10		10	13	10	6		49

E. J 250cc													
1	東福寺	保雄	ヤマ	ハ	15	⑧	15	⑦	15	8	15	15	98
2	佐藤	和夫	ヤマ	ハ	10	⑤	10	⑧	12	15	12	15	84
3	吉原	朋正	ヤマ	ハ	①	10	12	18		3	③	⑧	76
4	野原	修一	カ	キ	⑥	6	5	8	13		③	③	54
5	星野	正博	ヤマ	ハ	8		4	2		6	12	5	47

セニア125cc														
1	杉尾	良文	ヤマ	ハ	15	12	15	⑩	15	15	15	15	⑩	102
2	瀬尾	勝彦	ヤマ	ハ	12	10	12	⑫	15	15	12	12	③	83
3	増田	耕二	ヤマ	ハ	③	15		18	10				6	68
4	鈴木	都良夫	ヤマ	ハ	2			15	12				12	56
5	内藤	勝司	ヤマ	ハ	⑥	4		9	6	12	5		④	50

セニア250cc														
1	増田	耕二	スズ	キ	12	15	④	18	15	15	10	6	12	88
2	鈴木	都良夫	ヤマ	ハ	12	15	12	15			12	15	81	
3	鈴木	秀明	ヤマ	ハ	15			10	②	3	15	15	4	70
4	杉尾	良文	ヤマ	ハ	6	10	10	6		15	10	6	⑤	6
5	石井	正美	ヤマ	ハ	①	5	5	13	5	6	10	10	②	③



東福寺保雄

今年のモトクロス界をふり返って最も印象的なのはやはり東福寺の活躍です。13回優勝はまさに敵なしといった所。文句なしの最優秀選手です。いまだ若冠19才、来年セニアの強豪を相手にどんな走りをするかが見ものです。

で、トップクラスライダーの大半が欠場、やや盛りあがりを見せましたが、250cc級は西独のベテランD・ブラウン(元チャンピオン)、350cc級はP・コルホーネンとそ

ロバーツ・片山一〇二位独占

オンタリオ2000レース



華麗なフォームでコーナーを攻めるK.ロバーツ

れぞれヤマハのライダーが優勝、125cc級は珍しくモルビデツリに乗ったブラウンが首位になりました。

75アメリカグランプリ選手権の序尾を飾るオンタリオ2000マイルレースは、賞金の多額なことで特に有名ですが、ヤマハインターナショナルからエントリーしたケニール・ロバーツ(TZ750)が、1000マイル2ヒートの首位を独占、文句なく完全優勝しました。

スズキのベテランG・ニコソンがわずかに反撃の気配をみせただけで、レースはロバーツのぶっ飛びの独走に終わりました。

また、プライベートエントリーのTZ750に乗った片山敬済選手は、両ヒートでそれぞれ二位、三位に入賞、総合二位のみことな成績をあげました。

250ccレースでは、カナダのステーブ・ベーカー(ヤマハ)が楽勝、二位は片山が確保しました。

国際スポーツハイライト

D・ベスコ300マイル／時の壁破る!

本誌でもおなじみのアメリカのスピード男ドン・ベスコが、九月末のボンネビル・ソルトフラットのワンマイル往復ランで、302.98マイル／時の驚異的なスピードをマークしました。

マシンはTZ750エンジン二基装備のシガー型ストリームライナー(全長21ft)でしたが、オートバイによる初のオーバースピードの大記録が生れたのです。

これは直ちにアメリカン・モーターサイクルアソシエーション(AAMA)の新記録として認められましたが、FIMの公認を得た後に正式のワールド・レコードとして発表されることとなります。

ロードレース

ノービス90cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	片橋 英治	スズキ	15	15	15	15	⑨		⑨	⑨	18	78
2	一ノ瀬 憲明	ホンダ			8	10	10		10	8	15	51
3	橋本 圭一	カワサキ			5	12	8		12	10		47
4	橋本 幸男	ヤマハ			10	10	12				13	45
5	横山 光男	ヤマハ	10	12		10				12		44
ノービス125cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	東金 青男	ホンダ	15	④	⑬	15	12	15		15		72
2	吉川 文明	ヤマハ		12	⑥	12	②	8	⑤	8	18	58
3	河相 律志	ヤマハ			15	10	10		15		13	53
4	外谷 朝安	ホンダ	8	10		③	5			12	15	50
5	斉藤 三夫	ホンダ	10	15		8		6		10		49
ノービス250cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	桶谷 俊彦	ヤマハ		⑩	15	12	12	15	15		18	72
2	長谷 利之	ヤマハ			12	15	15			15	18	57
3	飯田 道広	ヤマハ	15		8					12	8	44
4	鈴木 美好	ヤマハ	12	6	10							36
5	太田 一博	ヤマハ		8	15			8				31
ジュニア90cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	田口 勝雄	ヤマハ	15	15		15		12				45
2	鈴木 恒博	ヤマハ	12	12								24
3	若菜 博	ヤマハ					15					15
4	鈴木 吉博	ヤマハ				12						12
ジュニア125cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	山梨 保之	ホンダ	15	12	⑧	⑥	⑩	15	15	12	15	72
2	飯田 浩之	ホンダ	12	15	10	10	10	12	15	⑤	⑥	64
3	白浜 良一	ヤマハ	6	12	3	12						43
4	佐藤 健正	ヤマハ		6	15						13	42
5	高沢 聖治	ヤマハ		10	15			8	10			35
ジュニア250cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	酒井 克剛	ヤマハ	15	15	15	15	10		15	12	18	75
2	加藤 剛	ヤマハ			15	10			⑩			67



石井 康男

今年EJに昇格したばかりの石井は来年は早くもセニア入りする。その上違ふりの早さは今年の第4戦から乗り出したTZ350で、もの見事に750cc級でチャンピオンになったことからもうかがえるものです。125cc級でも1点さの2位はあつばなものです。

'75全日本選手権

今年度の全日本選手権シリーズは、ロードレースが日本GPでの金谷秀夫とYZR500の歴史的快記録によって、またモトクロスも新潟大会での最悪のコンディションに打ち勝った鈴木都良夫の圧勝によって幕を閉じました。

ランキング表でもお分かりのように、今年のイベ

3	高橋 幸治	ヤマハ	12	12		8	8			10	42	
4	水野 純夫	ヤマハ				8	12			15	32	
5	井上 哲雄	ヤマハ					10				25	
ジュニア350cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	大島 孝治	ヤマハ	⑩	15	⑬	15	15					18
2	高橋 力也	ヤマハ	12	6	⑬	10	15			12	8	48
3	萩原 淳司	ヤマハ	15	12		12				8		47
4	福井 正	ヤマハ			15				12	15		42
5	星谷 政一	ヤマハ	8	10						10		28
E.J125cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	相沢 清	ホンダ	⑩	⑬	⑩	15	15	15	12	15	18	72
2	石井 康男	ヤマハ	15	15	⑩	15	12	12	12	⑩	⑩	11
3	外谷 悦男	ヤマハ		⑩	15	12	12	12	⑩	⑩	11	59
4	渡辺 勝雅	ヤマハ	④	④		10	8	8	4	12	13	47
5	熊坂 章	ヤマハ	12			8	8	10		④	9	47
E.J750cc			1戦	2戦	3戦	4戦	5戦	6戦	7戦	8戦	9戦	計
1	石井 康男	ヤマハ	12	10	⑩	⑤	15	15	10	15	18	73
2	橋本久仁啓	ヤマハ				⑤	15	15	12	10	15	59
3	上野 真一	ヤマハ	15	15		⑤	12				57	
4	松本 吉正	ヤマハ	10	4	15	12				12	53	
5	鈴木 修	ヤマハ	5	6	5			12		④	13	41

北海道は札幌市の高級住宅街の一面に佐々木衛さんとケイ子さんというたあいへん仲のよいご夫婦がおります。

その仲のよさはどんなものかというところ、例えば旦那様は奥さまのことを「おケイさん」、奥さまは旦那様のことを「お兄さん」と呼び合うぐらいのもので、まるで仲良し兄妹のようだというられるほど人もうらやむ仲のよさです。ホラ、写真でもご覧のように、もうたあいへんなものです。

このご夫婦がまた大のバイクファンで、旦那様は私めTY50に、奥さまはうちの彼女チャビイにぞつこんなのでございます。どうしてお二人がわれわれを見染めてくれたかというところ、お二人がともおしやれで、イキなセンスの持ち主だからです。お二人がどの位おしやれかといえば、ホラ、また写真をご覧ください。ヘルメットからブーツまでピツタシ

きめていまして。おまけにツナギはお揃いときています。それは並みのおしやれではありませんよ。

もうお分かりでしょう。そう、おしやれなおしやれなお二人はわれわれTY50やチャビイのスタイルやカラーリングの素晴らしさ、ダイナミックにそして軽やかに走るその姿に心うっとりとなつてくださったのです。ということであれわれ二台は同時に佐々木家の一員になったという次第です。

でも、本当はわれわれの見栄えのよさばかりではありません。旦那様は、お仕事が地質調査技師だけにメカニズムにもとてもうるさいのです。これは旦那様のお母さまの教育にもよりますが、まだ旦那様が学生の頃、お母さまは旦那様に中古の車を買ひ与え、故障したら出来るだけ自分で直すようにさせたというくらいなのです。ですから旦那様はバイク

バイクファンのご主人に仕えて

もう、たあいへん

幸せなのです

札幌市・佐々木衛さん、ケイ子さんご夫婦の

TY50 / チャビイ50

旦那様は出かける時、必ずこうしてわれわれの健康状態を調べてくれます



ほら、奥さまのこのやさしいこと



のメカにも相当なものを持っていて、われわれTY50とチャビイを求めるときもわれわれの能力をよく調べたのです。もちろん合格でした。それからお二人の新しい生活、われわれバイクとの楽しい生活は始まりました。奥さまは札幌市内の病院で看護婦さんとして働いているので、通勤やショッピングに、旦那様は休みの日などに近所の山の中でトライアル、トレールランをしたり。もちろんいうまでもなく2人揃ってカッコよくツーリングを楽しみ、見る人をうらやましがることも。時には60kmも離れた奥さまの実家までロングツーリングすることもあります。こんな時は本当に走りがいがあるというものなんです。お二人には間もなく実現しそうなとても素敵な夢があるんです。これ以上みなさんうらやましがるのはちよつとばかり気が引

けますが、こうなつたら全部話してしまひましょう。グアム島はみなさんも知っていますね。新婚旅行でいらした方もあるかも。その近くにサイパン島という小さいながら、それはそれは美しい島があるそうです。そこには旦那様の知り合いの方が住んでいらつしやるんだそうです。で、お二人は、そこに一度いらしたお母さまから楽しいお話を聞いたり素晴らしい写真を見たりしたらもうだめ。いえ、つまり自分達もぜひ行って見たくなつちやつたんです。ただお二人だけで行くんじやないんですよ。われわれTY50とチャビイも一緒にです。南の美しい島を思いきり走れるなんてほんとステキですね。ほら、もう一度写真をご観ください。わたくしたちもよいご主人さまをもって本当に幸せです。



ヤマハ 奥さま



お店を手伝う販売店の奥さまの作業量は想像よりも遙かに大きくまた重要なものだ。

いしも明るく朗らかに

家事のつとめは守ります

和田 英子さん(和田モーターズ・和田敏氏夫人)

英子さんはご主人の敏さんと結婚する前、当時の女性としては珍らしく2500ccのラビットスクーターを乗り回してお稲荷さんで有名な豊川市でも評判の人でした。地元の新間に「赤ジャンパーのラビット娘」と紹介されたこともある程の二輪車ファンで、まさに販売店の奥さまとしてはうってつけの方といえます。

「主人はその頃から同じ豊川市内で今の仕事をしていますけど、私と主人のそもそものなれ染めはそういうことからではないんです。そのほうが記事にはしやすいでしようけれどもね、ホホホ」と明るい笑顔でユーモアをまじえて話される英子さんの性格は明朗そのものです。

「そうですね、私の取柄といったらあまり細かいことがよくよせすにつとめて明るくふるまうことが出来ることかしら。それは人間ですもの時にはいやなこともあります。けど、それを表に現わしてしまつたら自分もつまらないし、回りの人にも不愉快な気持ちを与えてしまつてしまう。特にうちのようにお客さま相手の仕事をしているものにはこのことはとても大切なことだと思えます。内助の功という程の大げさなものでもないんですけど、いつも心がけていることのひとつです。」英子さんがこう話されている間に裏の方からお子さんたちの元気な笑い声が伝わってきました。英子さんは一男二女、三人の子のお母さんです。

「私はオートバイが好きなのでお店の仕事も一所懸命ですけど、やっぱり一番大事なのは



森戸ツル子さん(34)
宇都宮市江曾島
1の2264の3

働く主婦にとってバイクは必需品です



小森谷三子さん(40)
宇都宮市田野町
230の3

わたくしたちの周りにも、バイクに乗りたい、また、乗る必要があると思っています。女性が多勢입니다。でも、世のご主人さんたちがそれを理解し、協力し、リードをしてくれなければ女性はどうしてもバイクに縁遠くなる、といったところが実状ではないでしょうか。もちろん販売店のアプローチもまた大いに重要なことです。



いつも明るく元気なお母さん。その、僕の私のお母さんはバイクに乗っているんだもん。

家の中の仕事をしつかりやることだと思つたよ。特に子供たちを明るく健康に育てるといふ母親の役目をおこなつてはなんにもならないわね。そんなことで主人に心配をかけたお仕事にさしつかえが出来たりしたらそれこそどうしようもないですもの。ですから私が普段からしていることつていつたら普通の奥さま達と決して変りないんです。

こうおつしやる英子さんのご商売の方のお仕事はしかし相当なものです。帳簿関係の整理や銀行や集金などの外回りの仕事はもちろん、特に若い女性を対象としてチャビィなどの乗り方の実技指導までしています。これは近所の自動車教習所の休みの時などを利用して、そのコースを借りて行うものです。

英子さんのこの明るい積極的な性格は、スポーツ好きということからもうかがえます。

高校時代は弓道部に籍を置き、社会人になつてからはスキーに凝つていたという英子さんです。「とにかくスポーツならなんでも好きなの。見るのも好きだし、自分でやるのほもつといいわ。オートバイが好きになつたのもスポーツころがそうさせたんだと思うわ。」

和田モーターズさんは5年前に、豊川市内の繁華街から郊外に移つて今のお店を新装オープンしました。裏の修理工場をあわせたお店の広さは100坪近くもある立派なものです。お店のレイアウトも中々なものです。和田モーターズさんでは、この10月から11月にかけて5周年記念の展示即売会を催すとのこと。これはモトバイクなどの豪華商品が当たる謝恩抽せん会もあわせて行うものです。ニュースの編集子はその準備でおおわらわの中をお邪魔しました。(愛知県豊川市豊川町野ヶ原239)

働く主婦にとってバイクは必需品です。



バイク談義に花をさかせる森戸さん(左)と小森谷さん。高虎輪店さんの店頭で。

今月は、お二人の女性ユーザーさんにご登場願いました。お二人はともに栃木県宇都宮市内にお住まいの奥さまで、愛車はチャビィLB50Ⅱ・A。森戸ツル子さんは、家事のカタワラパートタイムで幼稚園の給食係をしておられ、その通勤の足として、また、小森谷ミチさんは、家業がお菓子屋さんで、お客さまへの配達の足としてともにチャビィLB50Ⅱ・Aを使用しており、ともに市内の高虎輪店さんのお客さまです。

森戸ツル子さんご通勤の足としてチャビィ

に乗るようになったのは今年の一月ですが、それまでは自宅から勤め先の幼稚園まで、5〜6kmの道のりを約30分かかっていたの自転車通勤でした。

「実は、主人がチャビィで通勤するよう薦めてくれたのです。もちろん通勤時間の短縮がネライでした。チャビィにしてからは10分程度通えるようになりました、なにしろ主婦とパートタイマーの兼業ですから毎日忙しく、主人もわたくしがたいへんなことを理解してくれ、協力してくれたのです。最近では主婦がバ

ートタイムの仕事をするのが多く、通勤の便がわるいところの人はバイクに乗りたくて思っている人が多いのではないのでしょうか。でも、もともと女性は機械に弱く、販売店さんを自分でたずねたり、免許教室に参加するのは非常に苦痛に感じるものなんです。ですから、主婦がバイクに乗るには、世のご主人さんたちの協力がぜひとも必要になってくるようですね」

森戸さんはご主人の協力があって、以前とはくらべものにならない便利さをチャビィに

よって得たのです。

「免許教室があることは知っていましたが、受講する時間の余裕がなかったため、自学自習で直接試験所に行ってみました。そして一回で合格、さつそく主人がチャビイを買ってきてくれて、近くの競馬場で乗り方を教えてくれました。自転車とちがってバックミラーがあるし、タイヤは太いし、初めから、自転車より安定してる感じがして、恐怖心もあまり感じませんでした。恐くない程度にスピードも出て、夏などはとくに爽快感も味わうことができます。幼稚園の近くに大きな病院がありその若い看護婦さんたちもチャビイファンで、免許をとって乗りたいと言っています。こうした隠れた女性ユーザーは数が多いと思いますよ」

一方、小森谷ミチさんは、10年も前に原付免許を取得し、以前はギヤ付きの50ccバイクに乗っていたベテラン・ライダーです。

「主人と分担して、お菓子の配達をするためバイクが必要になり免許をとったのですが、以前乗っていたのはギヤ付で、チェンジが面倒でしたし、わたしにはシートの位置が高く乗りにくいバイクでした。ですから配達はなるべく主人に任せ店の仕事をするようにしていたのですが、主人が忙しい時は、やはり配達の手伝いをしないわけにもいきません。そんなとき、主人が近所の高虎輪店さんからすすめられたのがこのチャビイでした。シート高は低く、らくに足が地に着きますし、タイヤが太いのですごく安定感があります。それにギヤ・チェンジのいらぬオートマチックというのが気に入りました。菓子カバンが積めるよう、大型の荷台を特別に付けてもらいまはチャビイのお陰で配達もスイスイ苦になりません。便利で経済的で、運転操作のらくなこうしたミニバイクは、働く女性のみならずに大いにおすすしたいものです」

●部品部からのお知らせ

いま売れるヤングウェア2種

キルティングジャンパー イタリアンジャケット

素材はナイロン100%のキルティング仕上げで、スタンドカラーにフードをおさめ、ジャケットは胸の左右におき、上から赤、白、緑のイタリアのナショナルカラーをデザイン化しました。サイズはM(品番90890-59448)、L(90890-59449)、LL(90890-59450)の3種類があり、小売標準価格は各5,950円



寒さが駆け足でやってくるこのシーズンにグッドセンスのヤングウェアを発売します。

パイルセーター

アクリル80%、ポリエステル20%をパイル織りしたVネックセーターで、左胸に音叉マークを中心にオーナーズクラブ、ヤマハの文字を上下においたワンポイント・アクセントが入ってしゃれた感じを出しています。サイズはフリーで、色は白(品番90890-59445)紺(90890-59446)、緑(90890-59447)の3種類あり、小売標準価格は4950円です。



ヤマハの新型車で話題の二輪車館は3号館です。また部品館では、前回にひきつづきヤマハ用品コーナーを設けました。販売店のみなさまのご来館をお待ち申上げております。

0・5差の勝負 '75 S Lトライアル関東大会

日本のトライアルランドのメッカともいわれる神奈川県津久井郡早戸川を会場に、十月十日「75年度S Lトライアル関東大会」がS Lクラブ東京事務局の主催で開かれました。参加選手は新潟、長野、山梨、神奈川、東京、千葉、埼玉、群馬など、各地からS Lト



早戸川銀座? S Lトライアル関東大会の一コマ



B Pは横須賀トライ&トライアルの川島節雄君で73.5、R Uは小野沢昇三君で74 (ベストクリーン) | stクラス | 番目の橋本利正君は74.4。写真はB Pの外に特別賞に輝いて伴野大会会長から表彰をうけた川島節雄君

ライアルシリーズ戦の成績で選抜されたベテラントライアラ―84名。セクションも早戸川名物の「まがい沢」「インテアンロック」「すべり台」「悪魔の階段」などを含む15セクション2ラップで、同時スタートのタイムトライアル方式です。全日本なみのセクションの設定には、それぞれに苦勞した様子でしたが、午後一時三十分には競技を終了し、大月、安住、上原のエクスパート・トライアラ―による模範演技を行い、参加選手の技術向上に役

冬はトライアルのシーズンとか。もちろんスノーモビルのシーズンでもありません。

寒さに向ってスポーツレジャーはどうあるべきなのか、また販売にたずさわっているいろいろな話題もあることでしよう。これまでに編集部直接に、あるいは本社・広報課を通じて各拠点のユニークな情報が入ってきておりますが、さらにみなさまの耳目をフルターにした楽しい役立つニュースのご連絡をお待ちしています。ご相談、ご質問、本誌に対する要望などなんでも結構です。投稿また大歓迎。ニュースバリエーションのあるご用件には編集部が急行します。

立てるものとなりました。

つづいて表彰式に移り、盛り沢山の賞品が活躍した沢山の選手の手にわたり、仲間からやんやの喝采を浴びました。大会を無事に終了して伴野東京支店長は「ブロック別に行われてきたS Lトライアルシリーズ戦の集大成としてきょうの関東大会が開催されたわけであるが、みなさん困難なセクションにも果敢なトライを試み、若さと健全なスポーツマンシップを感じた。多くのみなさんの協力を得て盛大な大会が行われたことを心から感謝すると同時に、さらに来年に向けて参加選手、関係者のみなさんの活躍を期待したい」と感想を述べていました。

なお、成績はベストパフォーマンスとランナーアップ、ファーストクラスの第一位までの差が1・9というスリリングな接戦で、参加選手の話話を呼びました。(写真上参照)

秋晴れのもと S L全道大会開催

〔北海道ヤマハ〕関東以西が記録やぶりの猛烈な残暑に見舞われている九月十四日、すっかり秋の装いになった北海道では、全道から約二〇〇人のS L仲間たちが一堂に会してS L全道大会が、全日本モトクロス選手権の行われる大和ルスツスキー場で行われました。

当日は秋晴れの良い天気恵まれ、モトクロス、カート、トライアルの各会場では、若者達がスポーツ心を大いに満足させていました。トライアルには東京から、全日本のエクスパート部門で活躍している人気者の大月信和選手が参加、またモトクロス場ではやはり全日本選手権のエクスパートジュニア部門の地元札幌の五十嵐聖治選手達の模範走行も行われ、参加者ばかりでなく多くの見物人も楽しませていました。

北海道ではカートも年々盛んになり、札幌市には交通至便な所に素晴らしいカートコースも出来たほどです。正式なオープンには来春



モトクロス、トライアル、カートとバラエティに富んだS L全道大会

になりますが、ここでは原付の乗り方講習会も行われる予定です。

NEWS TOPICS

鹿児島でも始まる SLトライアル大会

〔ヤマハ南九州〕九州二番目のトライアル会場としてオープンが待たれていた「トライアルランド鹿児島」（日置郡郡山町）が九月十四日、第一回SLトライアル南九州大会の開催によって正式にオープンしました。

この日の大会に参加したのは初心者クラス（8セクション2ヒート）36名、ノービスクラス（12セクション2ヒート）43名、ベテランクラス（同）8名の合計87名のトライアル仲間たちで、それぞれに希望のトライアルラウンドを得て日頃のウチを競ったものです。とくに初心者クラスのお客さまが、TY50で果敢なトライブリが印象的でした。これからは九州の南の端、鹿児島でもトライアルは新しいブームをつくるものと思われまます。（立山）



オープンを祝って沢山の仲間が駆けつけたトライアルランド鹿児島島の開会式

めずらしい ミニダートレース大会

〔埼玉北営業所〕ミニバイクによるスポーツレジャーが急速な高まりを見せていますが、



九月二十一日には埼玉北営業所が、フレンド店さん5店で組織している埼玉北スポーツ委員会と協力して全国でもめずらしいミニダートレース（写真）を開催しました。

埼玉県熊谷市の荒川河川敷の会場には、ヤマハミニを中心にチャビイやメイトも加わって60台が参加、砂ボコリをもとめせずフラットなオーバルコースを元氣一杯走りまわっていたものです。

この地域は以前からミニモトクロスが特に盛んでしたが、それをさらに発展させて今回のミニダートレースとなったもの。また、隣接するヤマハ安全運転推進本部の協力校・埼玉自動車教習所では、ヤマハレッドアローRC100MIIによるカート試乗会も好評の中で行なわれました。

バイクはきょうが初めて こちらはミニバイク運動会

〔ヤマハ神奈川〕九月十四日、SLクラブ神奈川事務局と山田モーターズ、平間モーター



YA1本社を訪問

56年製YA1-5705
282号車が、熱烈

なバイクファンの手によって甦えり、東京～磐田間280kmを一泊2日の行程で走破し、ひょっこり本社を訪れ、その健在ぶりを披露してくれました。オーナーは東京・渋谷の柿崎直治氏(35)で、東海道では長距離便から頑張れの声もかけられ、YA1がいかにも多くのファンを持っていたかを知ったと喜びもひとしおの感でした。——後継車が世界の市場に旅立つ本社工場前でのYA1と柿崎氏



ス、川崎安全自動車、鈴木モーターズの横浜、川崎の販売店さん4店が合同で「ミニバイク運動会」を横浜市の綱島自動車教習所を会場として開催、きょうがバイクは初めてという女性を含む若い人たちが、ミニにチャビイにまたがって楽しいひとときを過しました。

お母さんもひと安心

モトバイクのセールスポイント

東京都千代田区一番町七

トミサイクル商会

代表取締役 小田 敏生



東京は皇居の北側、千代田区一番町七にあるトミサイクル商会さんには、このところチッコのお客さんでにぎわっています。みんなモトバイクの可愛いお客さまです。

「そう、もう十五、六台ぐらいい出ていますかね。みんな黄色のMB1です。中学生ぐらいになるとひとりで品定めしていきますが、小学生はお母さんと一緒です。お母さんのいうことには、スポーツ型のサイクルで出かける時、スピードも出ることだし、どこまで行っただのか、帰ってきて顔を見るまで心配ですが、モトバイクにしてからは、スピードを出さ

なくてすむし、タイヤも太く安定性があって安心してまかせられるというんですね。

色も鮮やかな黄色で、ほかの自転車にはない独自のものです、よく目立つだけに安全性も高いと認められています。とにかくモトバイクの評判はいいですよ」

小田社長のやさしい人柄にひかれて、きょうも遊びにきていた可愛いお客さんとさつそく一問一答。

—モトバイクのどこがいい？

「運転しやすいこと」

「バナナシートで乗り心地バツグーン」

「クッションつきでらくちん、面白い」

「安全性があるんだ」

—どんなときクッションのよさを感じた？

「あのね、歩道と車道の境のように段違いのところを乗り越えるとき」

「ふつうの自転車のようなショックをぜんぜん感じないんだ、スピードだしてだよ」

「いつとうはじめさ、スピードだしていて急ブレーキかけたんだよ、そしたら前のクッションがグーツと沈んでさ、前のめりになってびっくりしたナ。そのくらいクッションがき

くんだ。だから知らない友だちには貸せないんだよ。ひっくり返ったら困るもん」

「ブレーキもよくきくんだよ」

「そう、ドラムブレーキだもん」

—お父さん、お母さんの評判は？

「うん、やっぱり乗りやすいっていつていてるね。でも、大人のものじゃないものね」

インタビュにに応じてくれたお客さまは、

大下健太郎くん(10才・小学五年生)、大野裕介くん(12才・小学六年生)、今井栄一くん(12

才・小学六年生)のみなさんで、ふだんは家の近所でのマイ・サイクルとして、日曜日は

四、五キロの遠乗りや皇居一周のサイクリングを楽しんでいるということでした。貴重な

意見をどうもありがとうございます。

バイクでニューライフ

昨年来、バイクのある生活を提唱してきましたヤマハは、さらにその展開として楽しくべんりなバイクライフのいっそうの普及をめざし、バイク愛好層を拡大しています。

10月31日から11日間、東京・晴海で開かれている第21回東京モーターショーもこのテーマを主題に集約、展開するものとし、〈天気の良い日〉というさわやかなイメージを基調に、

- ①生活の手足としての50ccバイク
 - ②すぐれた技術、すぐれたバイク
 - ③健全なスポーツレジャーの育成
- 「養生」SL・安全活動

を展示コンセプトの柱としてデザイン、構成しました。この成果については本誌12月号において詳報いたしますが、とりあえず展示商品の紹介として、「東京モーターショー・ヤマハ新車情報」を特別附録としました。セールス活動にお役立ていただければ幸いです。



21st
Tokyo
Motor
Shows

前号で述べたように「軽い走行」は、良いタイヤを付けることにより十分に達成されます。しかし、ロードレーサーのように急激な「加速」が要求される場合、今度は加速抵抗が問題になってきます。この加速抵抗の軽減化は、回転部分を軽くすることがキメ手です。要するに「慣性モーメント」を小さくすればよいわけです。特に中心から遠く離れた部分の軽量化により、抵抗は大幅に減少します。したがって、まずリムの軽量化が最も効果があり、つぎにチェーンホイールということになります。しかし、すべての車種に軽合金を使うのが果たしているのかどうか。経済性、耐久性を考え、そして、なによりもまず自転車の使用目的によって決められるべきではないでしょうか。

乗り手、目的、車種、経済性。
プジョーは、この4つの調和をたえず
追求しています。

ここに、プジョーの材質構成がいかに目的を

考慮し、バランスよく保たれているか、主な車種をピックアップしてご紹介します。

車種名	タイヤ	リム	チェーンホイール	標準現金価格
PX50(ロードナー)	ミシュラン(1寸)	リジダ ニクロムスチール	ニクロムスチール	¥55,000
UE8 (オールラウンド スポーツ)	ユッチンソン(1寸) セミオープンサイド	リジダ ニクロムスチール	ニクロムスチール	¥57,000
PA10E(ロードレーサー)	ウォルバー(1寸) (インターナショナル)	マビック 軽合	ニクロムスチール	¥75,000
PR10(ロードレーサー)	ウォルバー(1寸) (インターナショナル)	マビック デボシレコード軽合	ストロングライト49 軽合	¥88,000
PX10E(ロードレーサー)	ウォルバー(1寸) (プロフェッショナル)	マビック プロフェッショナル軽合	ストロングライト93 軽合	¥145,000

これでおわかりのように、「軽い走行」を設計の大前提とするプジョーイズムは、まずその中心となるタイヤ選定に強く貫かれており、リム、チェーンホイールの材質に関しては、使用目的からみた耐久性、さらに経済性を十分に考慮した上で使い分けられています。サイクリストにとって、本当の意味で「良い」といえる自転車づくりを目指すプジョーの設計思想。「飾らないプジョー」と言われるゆえんが、まさにここにあるのです。

さあ、あなたなら、どのプジョーを選び、乗ってみますか。きっと「本物の乗り味」に出会

うはずです。プジョーは、1889年フランスに生まれた自転車。



スポーツ車にも、 ロードレーサーのような「加速」が 必要なのだろうか。

●プジョー、本年度フランス一周4000km(ツール・ド・フランス)優勝。



ヤマハ ニュース 11月号 ●昭和50年11月1日発行 ●発行所…ヤマハ発動機株式会社 丁438 静岡県磐田市新貝2500 ●発行人…小宮 功